**寒冷気候の影響**

寒冷気候と水や氷の凍結・融解は、とかち鹿追ジオパークの地形の形成に欠かせない存在です。寒冷気候は、ジオパーク内の標高の比較的低い場所にある永久凍土を保全します。この永久凍土は、北半球の中でも最も南に位置するもののひとつです。永久凍土、崖錐を含む地形形成、風穴などの周氷河現象は、寒冷気候の影響や、気候が地形や多様性に与える影響をよく表しています。

*「凍れ」とはどのくらい寒いのか？*

鹿追の冬は長いです。街の中心部の最低気温は、一年のうち157日間\*、 0度を上回ることはなく、最高気温は約73日間\*にわたって氷点下が続きます。1月になると、街の平均気温は -6.7℃\* で、然別湖周辺では -12.2℃\* になります。もっとも寒い時期、然別湖周辺の気温は -30℃にまで下がることもあります。 然別湖は12月の間に凍り、4月中旬まで完全に凍ったままの状態が続きます。真冬には、然別湖を覆う氷の厚さは1メートルにも及びます。

\*1991年から2020年の現地記録に基づく